ところバス･ところワゴンの概要

ところバス

平成10年～

- 平成10年に、東・西２コースで運行開始。
- 令和7年5月現在、７コース８３便（平日）、７９便（土休日）を運行。
- 運行目的は　①高齢者等の移動手段　②交通空白地域の解消　③公共施設へのアクセス向上
- コロナ前は、年間のべ39万人が利用。現在は、約36万人が利用。

【課題】
- 多様な移動ニーズへ対応するため、公共交通を「ネットワーク」として機能させる必要性

ところバスの利用者が少なかった三ケ島地区、柳瀬地区、富岡地区で、新たな公共交通を検討

ところワゴン

令和３年～

- 定員8人の車両にダウンサイジングして、令和3年4月から順次実証運行を開始。
- 令和7年5月現在、 3地区合計で、１０ルート７２便（平日）、６２便（土休日）を運行。
- 地区ごとに、まちづくり協議会・自治会等との意見交換や住民アンケートを行って停留所の場所などを決定。
- コースを1周30分程度に設定することで、概ね1時間に1便での運行を確保。

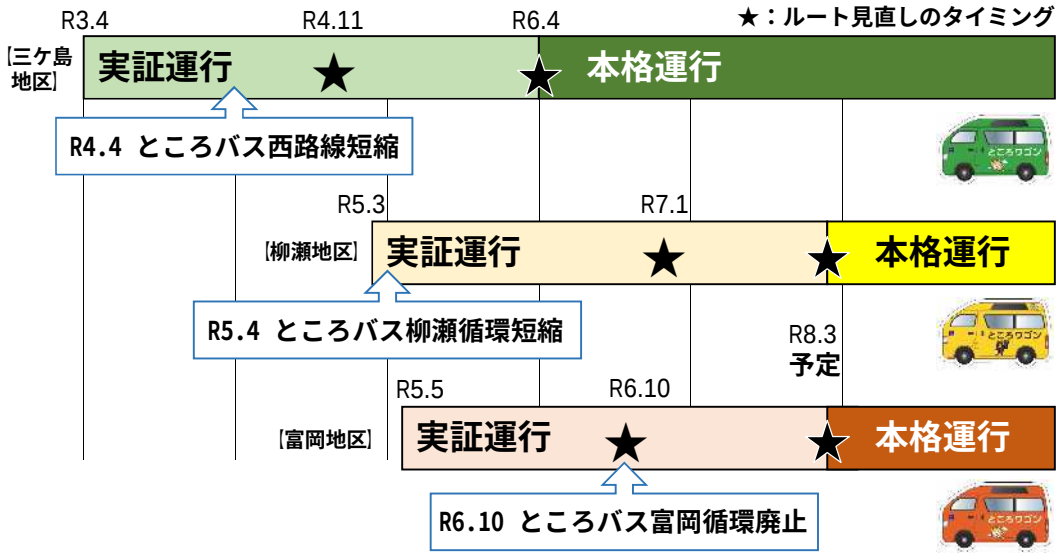
燃料費高騰や運転手高齢化、担い手不足といった社会課題を受け、一層の改善が必要となっている

ところバス･ところワゴンの特徴

ところバス

- 主に、航空公園駅を発着
- 循環コースは、1周60分～100分
- 乗客定員30人以上の小型バス車両
- 公共施設をくまなく廻るよう、市主導でコースと停留所を検討
- 原則、２車線以上の道路を走行
- 乗車距離に応じた運賃

ところワゴン

- 各地区の生活拠点の駅を発着
- コースは、1周30分～60分
- 乗客定員8人のワゴン車両
- 各地区でのアンケート等により コースと停留所を検討
- 住宅地内の生活道路も走行
- 距離によらず、一律200円の運賃

［令和７年５月現在のところバス･ところワゴン路線］